

推奨品の審査項目とその内容

項目	内容
素材、原材料の産地	・主な原材料が市内で生産または採取されている加工食品であること（市内で生産または採取できないものに限り、道内で生産または採取されている場合は可とすることがある）
事業所の所在地	・市内に商品を製造・加工する事業所を有している事業者であること ※技術的な問題などにより市内で製造・加工が難しく、かつ、安全性・信頼性が確保できる場合はこの限りでない。
商品の地域性	・登別市の自然や文化、伝統などの特性を有し、登別市のイメージ向上につながる物語性があること ・ほかの地域で生産、製造される類似商品と比較して、品質、食味、価格などの面で優れていること ・特許、商標登録などの知的財産権の取得や独自の取り組みがなされていること
商品の安全・信頼性	・関係法令に基づく表示基準などを遵守し、生産・販売方法も法令に基づき行われているほか、品質の高さや安全性などを維持するための取り組みがなされていること
生産体制	・商品を将来にわたり安定的かつ持続的に生産できる体制となっている、またはその予定があること
ブランド化への意欲	・ブランド化への意欲があり、登別ブランドの普及、認知度向上、他事業者などへの波及効果が期待できること

登別ブランドの審査方法

登別ブランドの認定審査は、公募した市民や生産者が組織する組合の代表、報道機関、調理師、食品加工の専門家などで構成される『登別ブ

ランド推奨審査会』が行います。はじめに書面で、事業所や産地、安全性についての基準を満たしているかの審査をし、書面審査に合格した商品は『審査会』に進み、事業者によるアピールと食味試験によって審査を行います。

インタビュー interview



登別ブランド
推進協議会会長
成田光男さん
なりたみつお

登別ブランドによる まちのイメージアップを

登別温泉は全国的にも有名で、毎年、多くの方が訪れています。近年まで、観光客がお土産として買っていくものは、道内のどこでも買えるような定番商品がほとんどでした。一方で、ブランド化を始める前から、登別には優れた特産品がたくさんありました。それらがお土産として観光客に買われていないのは、特産品そのものがあまり知られていないことが大きかったのだと思います。そのため、登別温泉の知名度を生かし、『登別ブランド』として、地

域をあげて特産品を売り出していく必要があると考えていました。

また、質の高い特産品を『登別ブランド』としてPRしていくことにより、質の高さが登別のイメージと結びつき、まちのイメージアップにつながることも期待していました。イメージがよくなれば、観光客がさらに増え、市内の事業者が潤い、まちも元気になります。

優れた特産品の ブランド化を推進 JUSV

ブランド化をはじめて早6年。事業者の皆さんの協力や、市民の皆さんの応援をいただき、積極的に事業を展開してきました。その中で、『登別ブランド推奨品』も増えてきました。市内にはまだまだ優れた特産品がたくさんあるはず。

今年度も『登別ブランド推奨品』を募集しますので、そのような特産品を作っている事業者の方には、ぜひ応募してもらいたいですね。そして、協議会とともに、『登別ブランド推奨品』として商品の販売促進や販路拡大に向けて取り組んでいただきたいと思っています。

市民みんなの力で、まちを元気にしていきたいと思います。